

### 吉原へつながる日本堤は遊廓のために造られた土手道ではなかった

隅田川から日光街道三ノ輪へつながる日本堤は元は江戸の町を洪水から守るために造られた堤防である。この一帯は待乳山、浅草の後側にある湿地帯だった。元和6年(1620)に幕府の肝煎りで待乳山を崩しわずか60日で造成した。同様に隅田川の東側の土手(墨堤)も寛永年間(1624~1644)には整備され向島方面を洪水から守った。

### 江戸の治水工事が進められ裏浅草は新田開発が行われた

家康が関東へ転封となり、最初に手をつけたことは、検地であり領地の整備にあった。大きくは江戸湾に流れ込んでいた旧利根川をはじめとする大河川の治水工事だった。この一帯を抱き込むように流れていた隅田川(旧入間川)も旧荒川との付け替え

工事が行われ、徐々に湿地帯から新田開発を行えるようになっていった。

### 吉田勘兵衛は横浜の新田開発より前に南千住の開発を手掛けていた

横浜吉田新田の開発者吉田勘兵衛は摂津の人で、元和年間に江戸に出て材木商を営む。財をなし、幕府御用達となり、江戸城修理なども請け負った。

また農業経営にも才覚があり、南千住の湿地帯の新田開発を手掛ける。やがて700~800石の収穫を得るまでになったが、幕府から社の建立が許される1千石には至らなかった。そこで勘兵衛が目をつけたのが横浜だった。

〈ポイント〉散策で訪れる寺社や史跡は4代将軍家綱(1651~)の時代になってからで、文治政治による新田開発など徳川が変わる節目にあった。

## 新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿って開催いたします。

### 1. 参加に際し

- ① 会員の紹介でご参加される方は氏名、電話番号をご提示ください。
- ② 体調のおもわしくない方、次の症状・接触歴がある方は参加を見合わせてください。  
\*37.5℃以上の発熱 \*咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・臭覚障害、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状  
\*新型コロナウイルス感染症に陽性とされた方と濃厚接触された方。\*過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている地域、国への訪問歴のある方、及び当該在住者との濃厚接触された方。

### 2. 散策において

- ① 参加者の密を避けるため少人数のグループ分けを行います。指定されたグループで散策をお願いします。
- ② 移動中グループ間で一定の距離を取り、人だまりが起きないようにご注意ください。
- ③ 昼食時、記念写真撮影の際は一旦グループを解きますが、係の指示に従って行動をお願いします。

### 3. 散策中

- ① 散策中は、マスクの着用をお願いします。
- ② ご自分のグループ名(A~)をメモ等でお控えいただくようお願いします。
- ③ 散策中はできるだけ大声を立てないようお願いいたします。
- ④ 訪問先の構造物の接触は極力避け、必要に応じてこまめな手指消毒、手洗いなどをお願いします。

### 4. 散策終了後

- ① 解散後の懇親会は行いません。解散以降大人数による集会は控え、各人責任ある行動をお願いします。